第九講　「す・さす・しむ」／「せ」の識別／「まし」

す・さす・しむ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
「　・　・　」の　形	す							型
それ以外の　形	さす							型
形	しむ							型

※「四段・ナ変・ラ変」の未然形＝「　」段＋す
　それ以外の未然形　　　＝「　」段＋さす

問一　「歌よみてやら［　　］たまふ。」の空欄には助動詞「す」を活用させた語形が入る。最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　す　　イ　する　　ウ　せよ　　エ　すれ　　オ　せ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【意味】

① **使役**（〜せる・〜させる）

② **尊敬**（〜なさる・お〜になる）

★**〈意味の見分け方〉**＝「　　　」を見る。

「　　」＝ す／さす／しむ ＝「又は」

＋「　　」

→ ない：「　　」

→ ある：「又は」

「　　」＝ 給ふ／おはす（おはします）／らる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

たよりごとに、ものも絶えず得**させ**たり。

（袖口から）さし出で**させ**給へる御手のはつかに見ゆるが、…

※真下に尊敬語がある場合→「　　」を確認

「人に」
「人をやりて」
「人を召して」
「人に命じて」
「人して（＝に命じて）」

がある→「　　」

「人に」が補える→「　　」

（例）随身に持た**せ**給ふ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 書きたるを御覧ありて、大いに笑はせおはしまして、…

② それを、張らせてまゐらせむとするを、…

③ 御供なる右近大夫を召して、点しつけさせたまふ。

④ 皇后宮聞かせ給ひて、いみじう喜ばせ給ふを、…

⑤ 心にくき限りの女房、四五人ばかり候はせ給ひて…
※候ふ＝お仕えする

★地の文（＝~~会話文~~）で**二重尊敬**の主語＝「　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「御随身に取らせて帰るを…」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　受身　イ　尊敬　ウ　自発　エ　断定　オ　使役　カ　完了（存続）

問四　「竟宴（きやうえん）といふこと、春日殿（かすがどの）にて行はせたまふ。」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

※春日殿…場所の名。

ア　可能　イ　受身　ウ　完了　エ　使役　オ　尊敬　カ　自発

問五　「言ひもよほして、せさするならむ」の傍線部の助動詞の意味、終止形、活用形をそれぞれ答えよ。

問六　「これはいかにせしめたまふぞ」の傍線部の文法的説明として適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞「せしむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
イ　サ変動詞「す」の連用形＋尊敬の助動詞「しむ」の未然形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
ウ　サ変動詞「す」の連用形＋使役の助動詞「しむ」の連用形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形
エ　サ変動詞「す」の未然形＋尊敬の助動詞「しむ」の連用形＋尊敬の補助動詞「たまふ」の連体形
オ　サ変動詞「す」の未然形＋使役の助動詞「しむ」の未然形＋謙譲の補助動詞「たまふ」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「せ」の識別

【識別対象】

1　使役・尊敬の助動詞「す」の「　　形」か「　　形」
2　「　　」の助動詞「き」の「　　形」
3　サ変動詞「す」の「　　形」

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	す	**せ**	**せ**	す	する	すれ	せよ	下二型
形	き							特殊型
／	動詞「す」							／

〈見分け方〉

1　上が「　　形」（「　　」段）＝助動詞「す」
（例）この大臣の作ら**せ**給ひける詩を、…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　「（「　　形」＋）**せ**　〜　　　」の「**せ**」＝助動詞「き」

（例）世の中にたえて桜のなかり**せ**ば春の心はのどけからまし

３　「　　」と訳せる「せ」＝サ変

（例）音**せ**ぬ暁に…

問七　次の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを後の選択肢の中からそれぞれ選べ（重複使用可）。

①　いかさまにせむと沈み臥したまへるに…

②　とらへてよませける。

③　夢と知りせば覚めざらましを

④　源氏の物語、人に読ませ給ひつつ…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ア　使役の助動詞「す」
イ　尊敬の助動詞「す」
ウ　過去の助動詞「き」
エ　サ行変格活用動詞「す」

①＝　②＝　③＝　④＝

問八　「思ふこと心にかなふ身なりせば秋の別れを深く知らまし」の傍線部の終止形を答えよ。

問九　次の傍線部の文法的説明として、最も適切なものを後の中から選べ。

清水寺の法師に養はせけり。

ア　動詞
イ　使役の助動詞
ウ　尊敬の助動詞
エ　過去の助動詞
オ　動詞の活用語尾

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まし

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	まし							特殊型

【意味】

① **反実仮想**（もしAならばBだろうに）
② **ためらいの意志**（〜ようかしら・〜たらよいだろう）
③ 仮想（〜ならよかった）
④ 推量（〜だろう）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★〈意味の見分け方〉

① **反実仮想**

A { **せ** 「　　」／「　　」／「　　形」 } ば　B　**まし**

※「〜**せ**ば〜まし」の「**せ**」は「　　　」の助動詞「　　」の「　　」形

（例）「やがてかけこもら**ましか**ば、口惜しから**まし**。」
（すぐに掛け金をかけて部屋の中にこもった　　　、残念だった　　　。）

★事実は？「　　　　⇐　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② **ためらいの意志**

「　　」＋〜**まし**

（例）これになにを書か**まし**。

③ 仮想

（例）見る人もなき山里の桜花ほかの散りなむ後ぞ咲か**まし**

④ 推量

（例）花やこよひの主（あるじ）なら**まし**

問十　「見し人の松の千年に見〔まし〕ば遠く悲しき別れせましや」の〔まし〕部分を適切な形に活用させよ。

問十一　「いかにせまし。」を現代語訳せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問十二　「名残なく燃ゆと知りせば皮衣思ひのほかにおきて見ましを」の傍線部の文法的意味を答えよ。

問十三　「居まし」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ア行上一段活用の動詞＋反実仮想の助動詞
イ　ア行上一段活用の動詞＋意志の助動詞
ウ　ワ行上一段活用の動詞＋反実仮想の助動詞
エ　ワ行上一段活用の動詞＋意志の助動詞

問十四　次の空欄に入る語として最も適当なものを、後の中から選べ。

「我、来ざらましかば、尼君の臨終はかくはなから［　　］。」

ア　む　　イ　ず　　ウ　じ　　エ　まし　　オ　ざり

問十五　「例の寸法にて立ちたらましかば、早く負けなまし。」の傍線部の文法的説明を答えよ。活用のある場合は、品詞、終止形、問題文中での活用形名、意味の順に記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講

①「この猫を北面にのみあらせて呼ばねば、…」の傍線部の助動詞の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　断定　イ　尊敬　ウ　完了　エ　使役　オ　強意

②「僧達近う候ひて、御念仏をして聞かせ奉る。」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　自発　イ　断定　ウ　使役　エ　完了　オ　尊敬

③「地獄に落ちさせ給はん事こそ、あさましく侍れ」の傍線部の文法上の意味として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　尊敬　イ　完了　ウ　自発　エ　使役　オ　可能　カ　過去

④「わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。」の傍線部の説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

ア　使役の助動詞「す」　イ　尊敬の助動詞「す」
ウ　過去の助動詞「き」　エ　サ行変格活用動詞「す」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　「思ふこと心にかなふ身なりせ[a]ば秋の別れを深く知らまし[b]」の傍線部ａの説明を、また、傍線部ｂの意味として、最も適切なものを次の中からそれぞれ選べ。

ａ　ア　サ変動詞「す」　イ　使役の助動詞「す」
　　ウ　尊敬の助動詞「す」　エ　過去の助動詞「き」

ｂ　ア　希望　イ　反実仮想
　　ウ　打消推量　エ　ためらいの意志

ａ＝　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　模範解答

問一　オ
問二　①　尊敬　②　使役　③　使役　④　尊敬　⑤　使役
問三　オ
問四　オ
問五　使役・さす・連体形
問六　エ
問七　①　エ　②　ア　③　ウ　④　ア
問八　き
問九　イ
問十　ましか　※文法的には「ませ」でも間違いではありませんが、和歌の音の数で「ましか」を正答とします。
問十一　どのようにしようかしら〔どのようにしたらよいだろう〕。
問十二　反実仮想
問十三　ウ
問十四　エ
問十五　助動詞・まし・未然形・反実仮想

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講　模範解答・解説

〔解説〕

① 上がラ変動詞「あり」の未然形。未然形（a段）に付いている「せ」は助動詞「す」。真下が「て」で尊敬語ではないので使役。よって、正解はエ。

② 上が四段活用「聞く」の未然形。未然形（a段）に付いている「せ」は助動詞「す」。真下が「奉る」で尊敬語ではないので使役。よって、正解はウ。

③ 助動詞「さす」の連用形。下が「給ふ」で尊敬語なので、上もざっと確認。「人に」がないので尊敬。よって、正解はア。

④ 「おろかにする」のように「する」と訳せるので、サ変動詞「す」の未然形。よって、正解はエ。

⑤ a 「連用形＋せば～まし」の「せ」は、過去の助動詞「き」の未然形。よって、正解はエ。

b 「～せば～まし」の「まし」は反実仮想。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　エ　②　ウ　③　ア　④　エ　⑤　a　エ　b　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。